

# ひょうごけん うみ み い もの 兵庫県の海で見られる生き物

かいすいよく とうらい こんかい ひょうごけん うみ み い  
海水浴シーズンの到来です。今回は、兵庫県の海で見られる生き  
もの しょうかい  
物について紹介します！いずれも、浅瀬で見つけられる身近な生  
き物です。実際に海へ行って探してみましよう！



イトマキヒトデ



イトマキヒトデのお腹側

イトマキヒトデは水の浅い岩場にいます。腕  
は5本のものが多いですが、4~7本のものもいま  
す。

見つけたら、裏返してみましよう。お腹側の真ん  
中に口があります。餌（貝や魚の死骸）を食べる  
ときに、口から胃袋を出して餌を包み込んで食べ  
ます。

お腹側にある白い管は足で、先が吸盤になって  
います。この吸盤のついた足をもっているの  
で、岩などに張りついたり、移動したりすることが  
できます。

ウニの食べ物は海藻です。ウニのとげは、海藻を  
食べ続けるウニたちを危険な敵から守る役目をして  
います。

ウニの口は、お腹側の真ん中にあります。口には  
硬くて鋭い歯が5本あり、海藻を小さくかみちぎ  
って食べます。そして腸で消化した後、背中側の真  
ん中あたりにおしりから糞として出します。



ムラサキウニのお腹側

**アメフラシ**は貝の仲間です。外からは見え

ませんが、背中の膜の中に薄くて小さな貝殻があります。大きさは15cmくらいのをよく見かけます。

驚いたり体を押されたりすると、紫色の汁を出します。水の中で紫色の汁が広がる様子が雨雲のように見えるので、アメフラシという名前がつけられました。

多くの生き物は、自分の周りの環境と似た色の体で、敵に見つかりにくくしています。これを保護色といいます。



アメフラシ



海の中ではこんなふうに見えます。  
どこにいるか分かるかな？



アオウミウシ



シロウミウシ

**ウミウシ**も、貝の仲間です。子どものとき

きは薄くて小さな貝をまとっていますが、大きくなると貝は脱ぎ捨ててしまいます。

ウミウシはきれいな色をしたものが多く「海の宝石」と呼ばれています。アオウミウシやシロウミウシの大きさは4cmくらいです。

ウミウシは、“毒を持っているぞ、食べるとまずいぞ”と相手を警戒させるために、鮮やかな色をしているといわれています。これを警戒色といいます。

★海の中に棲んでいる生き物たちなので、水の中でやさしく触りましょう。観察が終わったら、海にかえしてあげてくださいね。

【この資料やアクティブ・レンジャーによる出前授業の問合せ先】

環境省 竹野自然保護官事務所

TEL:0796-47-0236 FAX:0796-47-0249